

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科					
科目名称	環境緑地論					授業形態	講義			
科目コード	710017	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	中野 光議								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は学生達が、個々の動物種の生態とそれらの生息環境を理解し、生物多様性と生態系への洞察を深めることです。さらに、生物多様性を保全するための基礎となる緑地の設計についても学びます。 緑地として、森林、草原、都市公園といった陸域の緑地に加えて、河川、湖沼、水田、水路、ため池といった水域も扱います。									
関連する科目	履修後は、水辺環境論、環境調査及び再生論、ビオトープ論、環境緑地論実習、水辺環境論実習を履修することが望ましい。特に、本科目とビオトープ論の両方を履修することで、ビオトープ管理士資格試験対策を始めることが出来る。									
授業の進め方 と方法	授業の前半は講義を聞きながらワークシート（穴埋め形式）に取り組みます【知識・理解の獲得】。また、講義の中で学生に質問したり、学生が考える時間を設けたりすることで、学習効果を高めます。後半は、小テストや課題に取り組み、前半の学びを発展させます【汎用的技能の育成】。									
授業計画 【第1回】	第1回 概論と生態学 授業全体の内容や進め方について理解します。また、環境緑地論の基礎となる生態学について概説します。									
授業計画 【第2回】	第2回 生物多様性とその危機 生物多様性とは何か学びます。さらに、生物多様性の一つである種の多様性の評価方法を学びます。									
授業計画 【第3回】	第3回 陸生・水生貝類 陸生・水生貝類の生態の概要、および生息環境の設計の方針や方法について学びます。									
授業計画 【第4回】	第4回 鳥類 鳥類の生態の概要、および生息環境の設計の方針や方法について学びます。									
授業計画 【第5回】	第5回 自然保護区 緑地の形状と設計、および自然保護区について学びます。									
授業計画 【第6回】	第6回 緑地計画 緑地を造成するための計画の作成に必要な事項について学びます。具体的には、農村と都市の違い、緑地に関する法律について学びます。									
授業計画 【第7回】	第7回 水辺環境 水辺環境の概要と設計の方針について学びます。									
授業計画 【第8回】	第8回 昆虫類 トンボ類とホタル類の生態、および生息環境の設計の方針や方法について学びます。									
授業計画 【第9回】	第9回 両生・爬虫類 両生類と爬虫類の生態の概要、および生息環境の設計の方針や方法について学びます。									
授業計画 【第10回】	第10回 河川 河川の生物群集と生態系の特徴について理解します。									

授業計画 【第11回】	第11回 湖沼 湖沼の生物群集と生態系の特徴について理解します。
授業計画 【第12回】	第12回 水田 水田の生物群集と生態系の特徴について理解します。
授業計画 【第13回】	第13回 森林草地 森林草地の生物群集と生態系の特徴について理解します。
授業計画 【第14回】	第14回 海域 海域の生物群集と生態系の特徴について理解します。
授業計画 【第15回】	第15回 都市 都市の生物群集と生態系の特徴について理解します。
授業の到達目標	1. 緑地の造成・管理に必要な幅広い知識を獲得する。【知識・理解の獲得】 2. 動植物を保全するために必要な知識を獲得する。【知識・理解の獲得】 3. 自然環境を保全するための方策を自分で考え出す思考力を養う。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	授業中に指示します。次回の授業のテーマについて本やインターネットで調べてもらいます（30分～1時間ほど）。
授業時間外学習【復習】	授業中に指示します。また、返却された提出物を各自で見直してください（30分～1時間ほど）。
課題に対する フィードバック	授業中に解説します。
評価方法・基準	提出物100%で評価します。
テキスト	なし
参考書	「生態学入門 第2版」（日本生態学会編、東京化学同人） 「改訂9版 環境社会検定試験®eco検定公式テキスト」（東京商工会議所編著、日本能率協会マネジメントセンター） 「水辺環境の保全-生物群集の視点から-」（江崎保男ほか著、朝倉書店） 「改訂2版 生物分類技能検定3級・4級解説集」（生物分類技能検定事務局著、自然環境研究センター著）
備考	なし